

「水の都西条を通り名で道案内」社会実験が終了しました

～ 実施期間中は市民の皆さまのご協力をいただき、ありがとうございました ～

市では国土交通省の委託を受け、JR伊予西条駅前周辺地区の道路を対象に「通り名標識」を設置し、地域に不慣れな人や観光で訪れた人にも分かりやすい道環境を整備するための課題を検証する社会実験を実施しました。

実験方法は、1987（昭和62）年に市民公募で愛称を定めた12路線のうち7路線に、木製標識と木製プレートによる「通り名標識」を設置し、平成19年2月15日から3月23日までの約1カ月間、道路利用者への聞き取り調査や住民アンケート調査を行いました。

その結果、道路利用者への聞き取り調査494件、住民アンケート調査123件の回答があり、さまざまなお意見をいただくことができました。



アンケートの主な結果

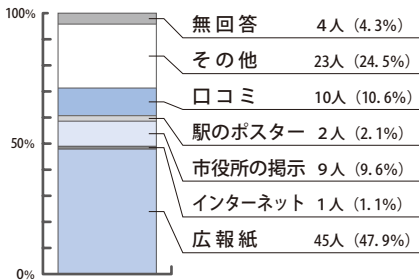
- 通りの利用者の約8割が市内在住者でした。通り名の認知度は、市内在住者については約6割と高い数値を示しましたが、市外在住者については約2割と認知度が低い結果となりました。
- 道案内表示の必要性は認識しているものの、あまり不便を感じている人はおらず、不必要との意見も約23%ありました。
- 通行人と比較して、商店・事業者から道案内表示の要望が高い結果を示しました。

アンケートの結果を踏まえて

今回の社会実験は短期間のため、道路利用者には十分な周知ができませんでしたが、今後は観光客への周知を図るなど、自治会などを通じて、さらに効果の分析をしていきたいと考えています。

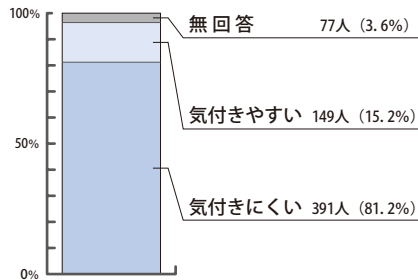


この社会実験をどのようにして知りましたか？



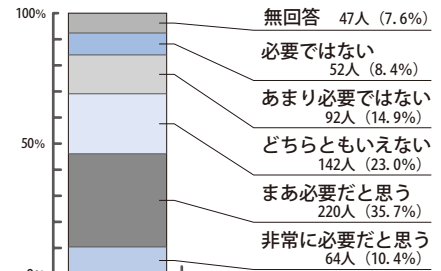
広報紙で社会実験を知った方が、約半数近くいました。

社会実験の標識は気付きやすいですか？



「気付きにくい」で最も多かった意見は、標識が小さい、標識の色が目立たない、標識の設置位置が高いなどでした。

今後、このような道案内システムはどのくらい必要だと思いますか？



必要ではないと回答した方は、全体の約24%で、必要性としての意見は高いと思われます。

社会実験について詳しくは…
社会実験のホームページ…

市庁舎別館建設道路課 建設土木係 TEL0897-52-1231
<http://www.mlit.go.jp/road/torime/index.htm>